

2003 年度 委員会活動成果報告

(年 月 日作成)

委員会名	建築教育技術小委員会	主 査 名：戸部 栄一
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会	委員長名：西谷 章
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	本小委員会は、教育題材、教育メディア、指導方法、成績評価など教育技術向上のための諸問題を明らかにし、公表することを目指して設置されるものである。2203 年度は委員の関心と問題意識を調べ、活動方向を論じてきた。また、その基礎となる全国の建築系大学のカリキュラム・シラバスを収集した。	
委員構成 (委員名(所属))	戸部栄一(椋山女学園大学) 小野田泰明(東北大) 角本邦久(建築都市研究室 K2)、川島洋一(福井工大) 川戸敏雄(近畿大学) 小谷部育子(日本女子大) 桜井慎一(日本大学) 篠部裕(呉高専) 西谷章(早稲田大学) 初見学(東京理科大) 益子義弘(東京芸大) 三原斉(ものつくり大学) 連健夫(連健夫建築研究室) 山田由紀子(明治大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	100.000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会は 4 回開催(9/6: 7 名、9/7:5 名、10/30:4 名、12/26:6 名)。このほかに、メール会議 2 回。学会大会において研究懇談会参加。第 4 回建築教育シンポジウム開催。卒業生進路調査 WG と共同で全国建築系大学へのカリキュラム・シラバス送付依頼。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度は小委員会の改組初年度であり、建築教育研究小委員会とともに、委員会の活動戦略について議論することから始めた。この結果、小委員会の枠を超えて委員各自の問題意識に沿ったいくつかの研究チームを作り、相互に連絡しながら、研究計画を立案することとした。 ・ 全国建築系大学のカリキュラム・シラバス収集は、建築教育研究小委員会・卒業生進路調査 WG と共同で行い、50 大学程度から収集できた。この活用は来年度の課題となる。 ・ 第 4 回建築教育シンポジウムでははじめて査読による論文掲載を試みた。この実施、および体制づくりに当小委員会は大きな貢献をした。 ・ 設計教育の「スタジオ制」に関心のある委員がこれに関する教科書作りに向けて議論を展開している。来年度は、WG を設立し、本格的に活動する予定である。 <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築教育委員会の改組初年度であるため、明確かつ具体的な目標を定めることができずに活動を開始した。しかし、議論の結果、少ない予算の中での活動方向を定めることができた。この意味で、初年度の目標は達成できたものといえる。

その他評価すべき 事項	特になし
----------------	------